

第8回東通村まち・ひと・しごと総合戦略本部幹事会議事録

1. 日 時 令和元年11月13日(水) 8:30~10:00
2. 場 所 庁舎2階会議室
3. 出席者 菊池敢世幹事長、小笠原伸一幹事、宮本憲明幹事、大竹実幹事、
石田義宏幹事、真手義照幹事、畑中能文幹事、角本晃幹事
(欠席者:川上博之幹事、松木敏夫幹事)
事務局:西谷総括主査、五十嵐総括主査

4. 概 要

- (1) 第2期東通村まち・ひと・しごと創生総合戦略(2020~2040年)の策定について
(資料1~資料8に基づき事務局より説明)

総務 GL: アンケート案だが、最初の説明文が多くて回答する気を失くすので、わかりや
(総務課長) すぐ簡潔にした方が良い。前回のアンケート回収率はいくらか。また、役場職
員に対してもアンケートを行ってはどうか。

幹事長: 前回のアンケートは、400人対象として回答率32%。

総務 GL: ふるさと納税の寄付総額はどのくらいあるのか。寄附額を上げるために商品開
発も本気でやらないといけないのではないのか。

幹事長: 昨年度の寄附総額は約6,400万円。返礼品は50パターンと県内でも多い数であ
る。現在は、冷凍ブルーベリーが人気で3,000万円程度の寄附がある。

建築 GL: 人口ビジョンでは、原子力発電所の再稼働はいつ頃を予定しているのか。予定
の時期がずれるごとに見直しを行っていく必要がある。

幹事長: 第1期人口ビジョンでは、平成29年に再稼働する見込みであった。

商観 GL: 第2期人口ビジョンの和歴表記は平成でよいのか。

幹事長: 各市町で決められる。

建設 GL: SDGs とは何か資料をいただきたい。

事務局: 後ほど資料提供する。

商観 GL: 総合戦略は人口を維持するものか。どこに向かっているのかよくわからない。

土木 GL: 29集落は維持していくという考え方か。集落の人口が減少し、除雪、集会所、
道路等の問題も出てきている。

幹事長: 集落の維持については、第1期を策定する時も議論となった。役場職員が集落
支援員となって各集落を支援してはどうかという話もあった。

事務局: 集落の維持について、住民がどのように考えているのかアンケートに載せては
どうか。

幹事長: 自由記載形式でならよいと思う。

建設 GL：ひとみの里の人口は、分譲地の区画数に関連してくるので、最大でいくらになるのかというところが数値目標になってくるのではないかと。

幹事長：当初、アパート住まいから分譲地を購入し、定住するという流れを描いていた。しかし、実際はアパートに定住している状況。村営アパートから分譲地購入へ誘導するための策として、家賃の値上げをするというのはどうか。

水産振興 GL：村営アパートは家賃が安いから人気である。家賃が高くなったら、むつ市に流（農水課長）れてしまい兼ねない。

土木 GL：関係人口をつくるといっても、村の売りは何なのか。何を売りにして PR するのか絞った方がよいのではないかと。

幹事長：教育ではないだろうか。

事務局：総合戦略は人口ビジョンに向けて取り組むものであり、関係人口、移住人口を増やしたり子どもを産むことが直接つながると考える。不妊治療に対する補助や教育の学力向上により、東通村で子どもを産んで育てたいと思ってもらえるようになれば、村に住む人が増えるのではないかと。

幹事長：子育てに関する支援は充実している。

教総 GL：教育については、学力だけでなく、取り巻く環境も関係してくる。
(教総課長)

幹事長：第 2 期総合戦略の策定については、資料案のとおり進めさせていただく。各課にも意見照会等を行いながら反映させていくので、よろしく願います。

以上